フォルダ内の画像を連続して表示する

ピクチャーフォルダ／アニメーションフォルダ／連写フォルダ／デジタルカメラフォルダ内の画像を連続表示します。

●連続表示のスピード時間を変更することもできます。

メニュー ▶ データ確認 ➡ データフォルダ ➡ フォルダを選ぶ

1 連続表示を始める画像を選び、（メニュー）を押す。

2「1連続表示設定」を選び、◉を押す。

3「1連続表示」を選び、◉を押す。

選択している画像から、連続表示が始まります。

- 連続表示の停止：◉
  - ■連続表示の再開：上記操作のあと◉
- 次の画像へ早送り：連続表示中に（**次へ**）

連続表示のスピードを設定する

■ お買い上げ時には、「**普通**」に設定されています。次の操作で変更できます。
上記操作２のあと「2スピード設定」選択➡◉➡速さ選択➡◉

画像の編集

画像を拡大／縮小する

画像の拡大／縮小は、画面の中心を基点にして行います。

メニュー ▶ データ確認 ➡ データフォルダ ➡ フォルダを選ぶ ➡ ファイルを選ぶ ➡ メニュー（） ➡ 画像サイズ編集

1「1拡大縮小」を選び、◉を押す。

ディスプレイ下部左に「**移動**」が表示されます。表示されていないときは、（**リサイズ**）を押します。

●画像表示中に（**リサイズ**）を押しても、同様に操作できます。

拡大／縮小の中心を変更する

●（**移動**）を押します。このあとで、拡大／縮小の中心となる位置を、画面の中央部に移動します。

●ボタンを押している間、画像が移動します。ボタンから手を離すと、止まります。（それ以上移動できない位置まで移動すると、ボタンを押し続けていても、止まります。）

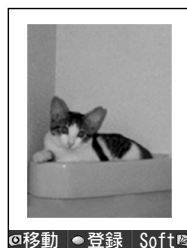
リサイズモードに戻るとき

●画像を移動したあと、（**リサイズ**）を押します。

2 （拡大）または（縮小）で、画像のサイズを変更する。

ボタンを押している間、画像が拡大／縮小されます。ボタンから手を離すと、止まります。（それ以上拡大／縮小できないサイズになると、ボタンを押し続けていても、止まります。）

■ 画像をなめらかにする：（Soft）

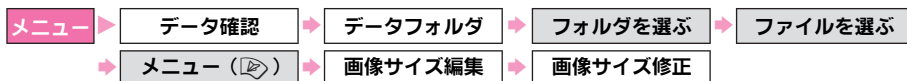
- 拡大により画面からはみ出した（表示されていない）部分は、登録時に自動的に消去されます。
- 拡大／縮小後に、（**移動**）を押し移動モードにしたときは、拡大／縮小した結果は破棄され、元の大きさに戻ります。

3 を押す。

サイズ変更した画像が新しい画像として登録されます。

画像サイズを変更する

データフォルダに登録されている画像を、壁紙用やメール添付用などのサイズに変更します。

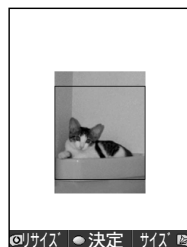
- 固定のサイズに変更するほか、お好みのサイズに切り出すことができます。（画像サイズを変更すると、画像のデータサイズも変更されます。）
- 画像サイズが大きいと、画像を表示できないことがあります。
- 「**画像サイズ編集**」が選択できない画像は、利用できません。

固定サイズに変更する

1 「1壁紙用」～「5アラーム時表示用」のいずれかを選び、を押す。

選んだ画像とサイズを示す枠が表示されます。（「1壁紙用」を選んだときを除く）

壁紙用	横240×縦320ドット
写メール用	横120×縦160ドット
パワー ON／OFF用	横120×縦130ドット
着信時表示用	横120×縦38ドット
アラーム時表示用	横120×縦51ドット

■ 画像サイズ選択のやり直し：／（**サイズ**）

9 データ管理（データフォルダ）

2 画像の表示範囲を指定する

1 ◎で表示範囲を指定し、●を押す。

●画像サイズによっては、表示範囲を指定できないことがあります。

画像を拡大縮小する

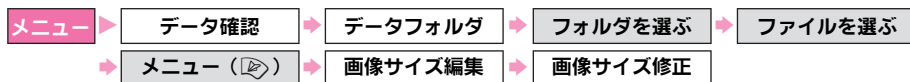
1 （リサイズ）を押す。

画面下部左に「**移動**」が表示されます。

2 ◎（拡大）または◎（縮小）でサイズを変更し、●を押す。

3 ●を押す。

新しい画像として登録されます。

サイズを自由に変更する

1 「6自由切出」を選び、●を押す。

2 ◎で「＋」を切り出す部分の左上に移動し、●を押す。

3 ◎で「＋」を切り出す部分の右下に移動する。

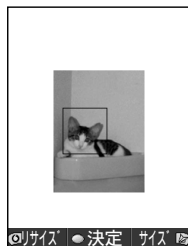
■ 指定のやり直し：（**戻る**）➡操作２からやり直す

4 （完了）を押す。

■ 画像サイズ選択のやり直し：/（**サイズ**）

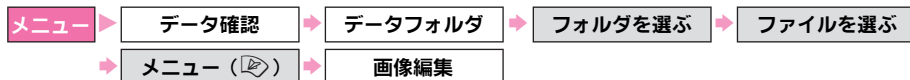
■ 表示範囲の指定／画像の拡大縮小：☞上記「**固定サイズに変更する**」操作２

5 ●を２回押す。

新しい画像として登録されます。

画像に文字やマーカーを追加する（マーカースタンプ）

画像に文字や矢印のマーカーを追加して加工することができます。

●マーカースタンプに利用できる画像は、JPEG形式とPNG形式です。データ内容によっては、利用できない画像があります。

●「**マーカースタンプ**」が選択できない画像は、利用できません。

1 「1マーカースタンプ」を選び、●を押す。

■ 文字色の設定：「**7文字色設定**」選択➡●➡色選択➡●

■ 文字を縁取らない：「**8縁取り設定**」選択➡●➡「**2OFF**」選択➡●

注意 PNG形式の画像は、「**文字色設定**」および「**縁取り設定**」は利用できません。「**白文字（黒フチ）**」となります。

9 データ管理（データフォルダ）

2 文字を入力するとき

1「1文字」を選び、●を押す。

2 文字を入力し、●を押す。

- 最大全角8文字（半角16文字）まで入力できます。

■ 文字入力のやり直し：（**戻る**）➡操作1からやり直す

■ 文字色の変更、縁取りのON／OFF：1～9、0（押すたびに切り替わります。）

マーカーを付けるとき

1 マーカーの種類を選び、●を押す。

■ マーカーの変更：（**戻る**）

■ 文字色の変更、縁取りのON／OFF：1～9、0（押すたびに切り替わります。）

3 ◎で文字やマーカーを付ける位置を指定し、●を押す。

4「1YES」を選び、●を押す。

■ 文字／マーカーの追加：「2マーキング」選択➡●➡（**メニュー**）➡操作2～4をくり返す

■ 画像の確認：「3画像確認」選択➡●

■ 編集の取消：「4編集キャンセル」選択➡●➡「1YES」選択➡●

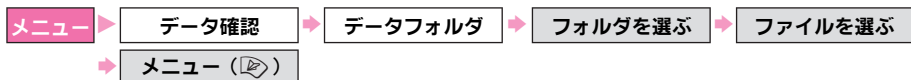
5「1編集完了」を選び、●を押す。

6「1YES」を選び、●を押す。

新しい画像として登録されます。

画像を装飾する

画像の色あいやタッチを変えることができます。

- 画像装飾に利用できる画像は、JPEG形式だけです。連写画像も装飾できます。
- 装飾可能な画像サイズは、横52×縦52ドット～横240×縦320ドットです。これ以上のサイズの画像は、画像の中心を基準に横240×縦320ドット部分を抜き出し、装飾されます。（画像サイズも変更されます。）
- 「2画像装飾」／「3連写画像装飾」が選択できない画像は、利用できません。

1「4画像編集」を選び、●を押す。

■ 連写画像の装飾：「3連写画像装飾」選択➡●➡操作3へ

補足 連写画像を装飾すると、連写画像内のすべての画像が装飾されます。連写画像内の1枚の画像だけを装飾するときは、個別の画像として登録（☞P.9-11）してから操作してください。

2「2画像装飾」を選び、●を押す。

9 データ管理（データフォルダ）

3 装飾の種類を選び、◉を押す。

●次の装飾が行えます。

セピア	セピア色で濃淡を表現
きらめき	光る部分を十字に輝かせる効果を表現
シャボン玉	背景にシャボン玉を飛ばすような効果を表現
万華鏡	万華鏡のような効果を表現
浮彫りタッチ	メタル系シルバーで立体感を表現
線検出	線で描いた絵のような効果を表現
アルミ缶	アルミ缶の側面に貼り付けた効果を表現
円ソフトフレーム	周りを丸くぼかすフレーム調
ソフトフレーム	周りをぼかすフレーム調
ちぎりフレーム	周りを手でちぎった感じのフレーム調

4 ◉を押す。

新しい画像として登録されます。

注意　画像を装飾すると、画像データサイズが大きく変わります。装飾された画像が登録できないことや、メール送信できないことがあります。

顔写真を加工する（フェイスアレンジ）

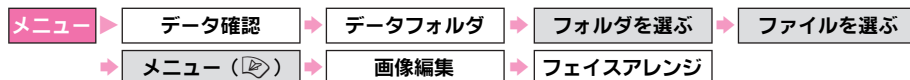
画像内の顔を笑い顔や怒った顔、泣き顔などに加工できます。

●フェイスアレンジに利用できる画像は、JPEG形式だけです。

●フェイスアレンジは、あらかじめ設定されている顔パーツ（輪郭、目、口）の位置や大きさを元に加工します。正面を向き顔が大きく中央に写っている画像を使用してください。また、次のときは、うまく加工できないことがあります。

■ピントが合っていない／首を傾けている／暗い／目が髪で隠れている／画面の中央に写っていない／口が開いている／メガネをかけている／ヒゲを生やしている　など

●画像に応じて、顔パーツの位置や大きさを調整できます。（☞P.9-17）

●「**フェイスアレンジ**」が選択できない画像は、利用できません。

1 アレンジの種類を選び、◉を押す。

右顔合成	顔の右半分をもとにした左右対称の顔	ほっそり	細くなった顔
左顔合成	顔の左半分をもとにした左右対称の顔	くしゃ顔	上下に圧縮された顔
微笑む	目、口が微笑んでいる顔	色黒	色黒になった顔
怒る	目、口が怒っている顔	色白	色白になった顔
悲しむ	目、口が悲しんでいる顔	カチン	怒りマークを合成

■ アレンジのやり直し：（**戻る**）

2 ◉を押す。

新しい画像として登録されます。

フェイスアレンジを行った画像をロングメールに添付したり、壁紙などに設定して楽しまれるときは、人格権、肖像権を尊重し、他の方の中傷などにご配慮ください。

顔パーツの位置／大きさを調整する

フェイスアレンジ（☞P.9-16操作1）を行うと、認識した顔パーツの位置が、加工する顔の位置とずれていることがあります。このときは、以下の操作で位置や大きさを調整できます。

●顔パーツは画像ごとに調整して登録します。

1 「顔抽出確認」を選び、◉を押す。

現在設定されている顔パーツが表示されます。

2 （修正）を押す。

顔輪郭の枠の左上に「＋」が表示されます。

3 顔の輪郭を指定する。

■ 指定のやり直し：（戻る）

4 右目→左目→口の順に、それぞれの顔パーツを指定する。

●画面上部のガイドに従って、操作３と同様に操作します。

9 データ管理（データフォルダ）

5 **指定が終われば、（完了）を押す。**

確認メッセージが表示されたあと、指定した顔パーツがすべて表示されます。

●顔パーツの指定をやり直すときは、操作２からやり直します。

■ あらかじめ設定されている顔パーツに戻す：（**リセット**）

6 **◉を押す。**

7 **「1YES」を選び、◉を押す。**

指定した顔パーツを付加した画像が、新しい画像としてデータフォルダに登録され、フェイスアレンジの画面に戻ります。

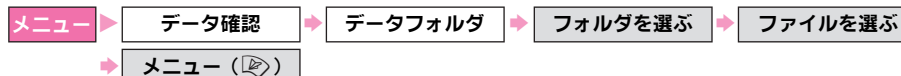
●このあと、新規登録した画像を使ってフェイスアレンジの操作を行うと、指定した顔パーツで画像を加工することができます。

その他の画像編集

●「**フレーム**」、「**連写フレーム**」、「**90度回転**」、「**保存形式変換**」、「**ムービングフォトフレーム**」のメニューが表示されるファイルで利用できます。

●編集後は、新しい画像として登録されます。

フレーム

JPEG形式の画像にフレーム（囲み）を付けることができます。

メニュー ▶ データ確認 ➡ データフォルダ ➡ フォルダを選ぶ ➡ ファイルを選ぶ ➡ メニュー（）

通常の画像にフレームを付ける

「4画像編集」選択➡◉➡「4フレーム」選択➡◉➡「1固定フレーム」／「2オリジナル」選択➡◉➡フレーム選択➡◉➡◉

■ フレームの確認：フレーム選択➡（**表示**）

▪フレーム選択画面に戻る：上記操作のあと（**戻る**）

連写画像にフレームを付ける

「4連写フレーム」選択➡◉➡「1固定フレーム」／「2オリジナル」選択➡◉➡フレーム選択➡◉➡◉

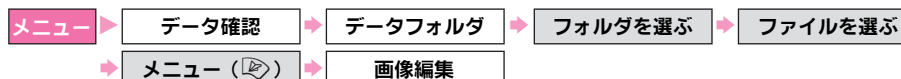
■ フレームの確認：フレーム選択➡（**表示**）

▪フレーム選択画面に戻る：上記操作のあと（**戻る**）

連写画像にフレームを付けると、連写画像内のすべての画像にフレームが付きます。連写画像内の１枚の画像だけを装飾するときは、個別の画像として登録（☞P.9-11）してから操作してください。

画像回転

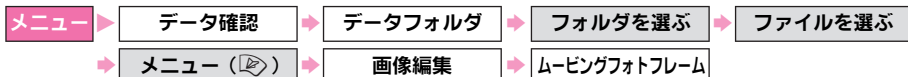
画像の向きを回転させることができます。

メニュー ▶ データ確認 ➡ データフォルダ ➡ フォルダを選ぶ ➡ ファイルを選ぶ ➡ メニュー（） ➡ 画像編集

「690度回転」選択➡◉➡◉※

※（**回転**）を押すたびに、画像が90度ずつ回転します。

9 データ管理（データフォルダ）

ムービングフォトフレーム　JPEG形式の画像に、動くフレームを付け、アニメーション風に仕上げます。

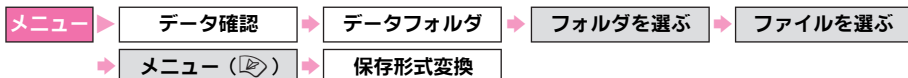
メニュー ▶ データ確認 ➡ データフォルダ ➡ フォルダを選ぶ ➡ ファイルを選ぶ ➡ メニュー（✉）➡ 画像編集 ➡ ムービングフォトフレーム

フレーム選択➡◉➡◉

■ ムービングフォトフレームの確認：フレーム選択➡◎（**表示**）
　■ ムービングフォトフレーム選択画面に戻る：上記操作のあと◎（**戻る**）

●作成したアニメーションは、「**E-アニメータ**」（.nva）形式で登録されます。

補足　ムービングフォトフレームのサイズは、横120×縦130ドットです。これ以上のサイズの画像は、画像の中心にムービングフォトフレームが付きます。うまく加工できないときは、フレームの種類に応じて画像のサイズを変更したり、お好みのサイズに切り出してください。（☞P.9-14）

保存形式変換　画像の形式をJPEG形式（「J」表示）やPNG形式（「P」表示）に変更します。

メニュー ▶ データ確認 ➡ データフォルダ ➡ フォルダを選ぶ ➡ ファイルを選ぶ ➡ メニュー（✉）➡ 保存形式変換

保存形式選択➡◉

●保存形式を変換できるのは、120×160ドット以下の画像です。
●変換前と同じ形式は、選択できません。

注意　保存形式を変更すると、画質が変わることがあります。

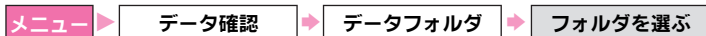
画像の合成

●ファイル形式やデータ内容によっては、操作できなかったり、表示されるメニューが異なることがあります。

分割画像を作成する

最大４枚の画像を縮小し、１枚の画像内に配置して分割画像を作成することができます。
●分割画像で利用できる画像は、JPEG形式だけです。連写画像も利用できます。
●あらかじめ、空きメモリがあることを確認して、分割画像を作成してください。
●指定した番号順に、分割画像の左上、右上、左下、右下に配置されます。

分割画像

メニュー ▶ データ確認 ➡ データフォルダ ➡ フォルダを選ぶ

1 **左上に配置する画像を選び、◉を押す。**
●連写画像は選べません。左上に連写画像を配置するときは、P.9-20操作10で画像の変更を行い、連写画像に変更します。

2 （メニュー）を押す。

3 「5画像合成」を選び、◉を押す。

4 「1 4分割画像作成 120×160」または「2 4分割画像作成 240×320」を選び、◉を押す。

5 ファイル名を入力し、◉を押す。

- 全角16文字（半角32文字）以内で、必ず入力してください。

6 番号を選び、◉を押す。

V302SHのデータフォルダが表示されます。

7 フォルダを選び、◉を押す。

8 画像を選び、◉を押す。

- 選択できない画像は利用できません。

■ 画像の変更：（変更）
■ 指定する番号から選び直す：（戻る）

9 ◉を押す。

分割画像用の画像として指定されます。

10 操作6～9をくり返し、画像を指定する。

■ 分割画像の確認：（メニュー）➡「1分割画像表示」選択➡◉
　■ 分割画像作成のメニューに戻る：上記操作のあと（戻る）➡クリア
■ 画像の変更：画像選択➡（メニュー）➡「2 変更」選択➡◉➡操作7からやり直す
■ 画像の消去：画像選択➡（メニュー）➡「3 消去」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

11 画像の指定が終われば、（完了）を押す。

■ 分割画像のメール送信：「2メール添付」選択➡◉➡ロングメール送信操作（☞ P.3-3操作2以降）

12 「1登録」を選び、◉を押す。

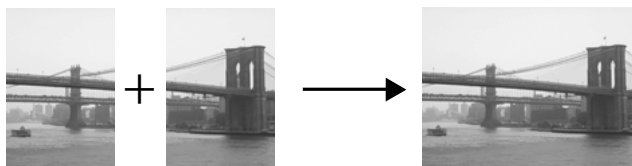
新しい画像として登録されます。

連写画像内の1枚の画像を利用する

■ 操作6のあと、次の操作を行います。
　連写フォルダ選択➡◉➡連写画像選択➡◉➡で画像選択➡◉➡操作10へ
- ファイル名のあとに「1/4」～「4/4」などが付加されます。

■ 分割画像も指定できます。（ファイル名のあとに「田」が付加されます。）

2枚の画像をパノラマ合成する

2枚の画像を横に並べて、1枚の画像にします。

2枚の画像を選択　　　パノラマ合成

画像に応じて次の効果を選べます。

標準	近距離で撮影した画像、遠距離で撮影した画像のどちらの合成にも適しています。
近景	近づいて撮影したときに生じる視差の影響を補正します。 近距離で撮影した画像の合成に適しています。
ドキュメント	説明板などの文字のある画像の合成に適しています。

- ●パノラマ合成に利用できる画像は、横48×縦64ドット以上、横120×縦160ドットまたは横160×縦120ドット以下のJPEG画像です。
- ●2枚の画像サイズが異なるときは、同じサイズになるよう、自動的に一部を切り出して合成されます。
- ●色味が異なる2枚の画像をパノラマ合成すると、うまく合成されないことがあります。

1 **1枚目の画像を選び、◉を押す。**

2 **（メニュー）を押す。**

●連写画像をパノラマ合成するときは、操作4へ進みます。

3 **「5画像合成」を選び、◉を押す。**

4 **「パノラマ合成」を選び、◉を押す。**

選んだ画像は左側の画面に表示されます。

●「パノラマ合成」が選択できない画像は、利用できません。

5 **「1標準」～「3ドキュメント」のいずれかを選び、◉を押す。**

6 **「2」を選び、◉を押す。**

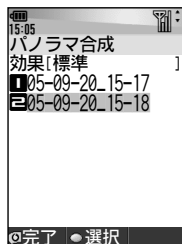
データフォルダが表示されます。

7 **もう1枚の画像を選び、◉を押す。**

8 **◉を押す。**

選んだ画像が２枚目の画像として右側の画面に表示されます。

- 画像サイズが大きすぎるときや、小さすぎるときは、画像選択画面に戻ります。画像を選び直してください。

■ 画像の変更：（**変更**）➡操作７へ

9 **画像の指定が終われば、（完了）を押す。**

合成された画像が表示されます。

- を押すと画像が移動し、隠れている部分が表示されます。

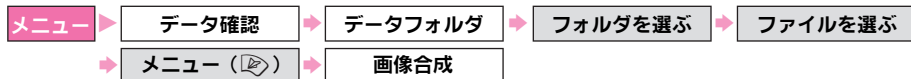
■ 画像の左右入れ替え：（**入替**）

10 **◉を押す。**

新しい画像として登録されます。

分割画像（画像分割メール）を結合する

画像分割メールに添付されてきた画像の１つを指定することで、４枚の画像を自動的に結合できます。

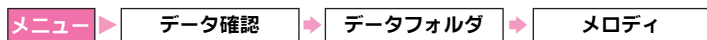
- 受信した画像のファイル名を変更したり、同じファイル名の画像があるときは、正しく結合できないことがあります。
- 画像分割メールで送受信した画像を結合すると、画質が変わることがあります。

1 **「画像分割メール結合」を選び、◉を押す。**

2 **◉を押す。**

新しい画像として登録されます。

メロディファイルの利用

- ファイル形式やデータ内容によっては、操作できなかったり、表示されるメニューが異なることがあります。

再生音量を設定する

1 **ファイルを選び、（メニュー）を押す。**

2 **「サウンド再生音量変更」を選び、◉を押す。**

3 **で音量を選び、◉を押す。**